

希望校合格を一年がかりで勝ち取ろう

開倫塾

塾長 林明夫

1. まずは志望校を明確にしよう

ものごとをするときに、目標が明確にあるのとないのとでは、ずい分エネルギーの量と方向がちがってきます。私立中学・高校・大学等の入学試験の合格を目指し勉強をするときも同じで、どこの学校に合格するために勉強をするのだという目標が明確にある方が、合格にむけての勉強の絶対量も多くなるし、傾向にピタリと合致した勉強が可能になります。受験学年になり、ただ何となく机に向かい本を開くのと雲泥の差が出ます。まずはどこの学校に合格したいのか、明確にしましょう。

2. 受験の日程を逆算しながら明確にしよう

何十年も行われている入学試験なのでいつごろどのようなことがあるかは、一度入試を体験した人なら誰でも知っています。どのような日程でどのようなことがらが行われるのか、入試までの日程を明確に理解しておきましょう。その度ごとにあわてずにすむからです。

(1)入試日 本年度の場合、3月8日(月)に栃木県・群馬県とも県立高校の入学試験が行われます。

*ということは、希望する県立高校に合格するだけの学力は3月8日までにつけておかなければならないことを意味します。開倫塾が3月6日に新学年を開講する最も大きな理由の一つは、県立高校の受験までの一年間、他の新中3生よりも1か月早く受験生になり、みっちり入試5科目の実力を身につけてもらいたいとの希いからです。

(2)私立高校・単願併願入試 毎年1月中旬から2月1日にかけて行われています。

*従来ですと、新聞の報道の通り、「業者テスト」(下野模試・栃木模試・学文館模試・新教育模試等)の結果の偏差値が内申書の内容の一部として各中学から高校に報告される例が多かったようです。しかし、新中3生については、文部省が中学校内での業者テストの実施とその結果の報告を禁止しましたので、私立高校単願・併願の調査書の中に業者テストの偏差値が記入されることはなくなると考えられます。その結果、1月の中旬から下旬に行われる私立高校の単願と併願の入学試験は文字通り、「実力試験」となり、何点得点できたかと、偏差値の添付なしの中学校からの調査書によって行われるものと予想されます。そこで、今までにも増して、各私立高校の出題傾向に合致した直前の受験勉強が必要となります。

(3)私立学業特待試験 12月25日の足利学園高校の学業特待試験を筆頭に各高校で「学業特待試験」が12月中・下旬に実施されます。

*開倫塾でも 460 名の在籍者中 380 名と 8 割以上の塾生が今年度も 12 月の内に私立学業特待試験での合格を果しています。恐らく一つでもいいから早目に合格校を確保しておきたいとの受験生の心理状況のあらわれが、このような高い受験率・合格率となってあらわれてきているように思います。開倫塾では、塾生の 8 割以上が受験する私立学業特待試験で全員合格を果して頂けるよう、例年 11 月 3 日に足利学園高校をお借りして「私立学業特待模擬試験」を独自で実施。試験后会場内での詳細な解説・解答授業を実施すると同時に、予想問題集も発行し、11 月と 12 月の 2 か月間の私立学特入試の家での勉強にも役立ててもらいたいと希望しています。県立高校を目指す大方の受験生は、12 月の私立学業特待試験の合格を果した後、1 月、2 月と 3 月上旬までの約 80 日間、県立対策一本に絞り込む傾向にあります。ただ、12 月に受験した私立学業特待合格校が、自宅と余りにも時間的に離れている場合には、1 月中旬から 2 月初めにかけ近場の私立高校 1 ～ 2 校に併願で受験をし合格を果した後、県立高校入試に臨む人もかなりいます。

(4) 受験校決定三者面談 11 月下旬から 12 月初旬に各中学校において「担任の先生」「本人」「保護者」の「三者」が「面談」し、どこの高校を受験するのかほぼ最終的に決定をします。時折決定が 1 月にずれこむこともありますが、担任の先生は大量の調査書を細心の注意でいねいに作成しなくてはなりませんので、なるべく早目にクラス全員の受験校を決定しなければなりません。その時期が通常は 11 月下旬から 12 月初旬です。

*この三者面談で用いられる資料が、それまでの学校での成績表と、従来は「業者模擬テスト」でした。新年度からは文部省が「業者模擬テスト」の中学校内での実施を全面的に禁止の方針を打ち出したので、学校内での成績が今まで以上に重要視されることが予想されます。「模擬テスト業者」が学校外の会場を借りて「会場模擬テスト」の形で行うことが最も予想され、中学校でも参考までにその偏差値を生徒を通じて学校にもってこさせ、高校に示すことはしないまでも、進路指導の上で参考にすることは幾分は予想されます。が、今までのように全面的に業者模試の偏差値を中心に志望校決定が行われることは少なくなると予想されます。それゆえ、「業者模擬テスト」にも十分注意を払いながらも、学校での平常の学習に熱心に取り組みよい成績を 1 学期の中間・期末試験と 2 学期の中間試験でとっておく必要があります。(2 学期の期末試験の結果まで内申書には書かれますので十分な取り組みを定期テストではする必要があります。)

(5) 業者模擬テスト(「会場」テスト) 従来ですと 10 月、11 月、12 月の業者模試が中学校で行われ志望校決定の上で最重視をされてきましたが、新年度からは会場テストという形以外では行われないと予想され、又、学校でも直接進路指導には使用しないと推測できます。ただ、これ以外に各中学校間の学力レベルの差を実質的にみながら志望校を決定することは難しいとも考えられ、非公式の形で参考にするのではないかとの推測もできますので、受験生としては、ぬかりなく、従来の受験生と同様に対策はすべきかと考えます。

*秋からの模擬テストでよい点を取るためには、夏休みまでに 1・2 年生の復習は一応終了させておく必要があります。9 月になって急に勉強をはじめ点を上げようと思っても、急にはよい成績は取れません。それゆえ、夏休みには 1・2 年の復習についてラスト・スパートをかけ、得点力をやしなわなければなりません。「業者模擬テスト」がどうなろうが十分に「実力」があれ

ば希望の学校には合格できるし、実力不十分なら合格は難しいのが現実です。各科とも 2 学期には中 3 内容で理解することが難しい内容が多出しますので、夏休みの内に是非とも中 1・中 2 内容について入試レベルにまで到達することをおすすめします。そのためには、中学 2 年生のうちに一応の中 1・中 2 の勉強は終えた上で、春期講習会から 7 月 21 日の地区大会までの 1 学期のうちに、1 回目の中 1・中 2 内容の復習を終わし、夏休み 40 日間で 2 回目の中 1・中 2 の入試レベルの本格的な得点力アップを目指すべきかと信じます。

(6) 実用英語検定 3 級・4 級試験 4 級に合格していない新中 3 生は 6 月 13 日に全員合格を果して下さい。その上で全員中学 3 年生は 10 月 17 日(二次 11 月 28 日)に 3 級合格を果して下さい。英検に合格していると入試でもよい成績がとれると同時に、中学から高校への内申書の特記事項に記入されますので入試にも直接役立ちます。

*開倫塾では全力を傾け英検合格にむけての指導をします。

3. 一つ一つの身近な目標を確実にクリアしながら希望校合格を果そう

それぞれの時期に、何をどのようにしなければならないのかを明確に理解したら、あとは素直な心でその通りやるだけです。がんばりましょう。